

INFOPRO 2005

第2回情報プロフェッショナル シンポジウム

会期 2005年11月10日(木) ~ 11日(金)

会場 日本科学未来館 7階
(東京都江東区青海2-41)

http://www.miraikan.jst.go.jp/j/guide/map_index.html

主催 独立行政法人 科学技術振興機構

Japan Science and Technology Agency (JST)

社団法人 情報科学技術協会

Information Science and Technology Association (INFOSTA)

後援 専門図書館協議会

財団法人 データベース振興センター、

特定非営利活動法人 日本医学図書館協会

日本データベース協会

社団法人 日本図書館協会

第1日目 11月10日(木)

A会場 みらいCANホール

は会場発表者、敬称略

13:00~15:05 セッションA1 特許情報1
座長 川村 剛(川村テクノサーチ)

演題A11 パテントマップソフトの特許検索への活用
- 特許調査に不慣れな技術者または初心者でも精度の良い調査結果を得る手法 -
インパテック(株) 有賀 康裕、内藤 和幸

演題A12 効率的な特許評価手法の開発
- 「Fターム解析マップ」による効率化 -
(有)テル・リサーチ 高橋 昭公

演題A13 特許侵害訴訟における先行技術調査のケーススタディ
- Honeywell社のLCD特許訴訟をめぐる攻防 -
トムソンサイエンティフィック 高島 有治、関崎 裕司、宮入 暢子

演題A14 サイテーションマイニング
- 米国特許の引用文献による類似度算出と可視化について -
日本EPI協議会
信越ポリマー(株) 国司 洋介
(株)日本電気特許技術情報センター 堀越 節子
(株)東芝 川本 敦子
富士写真フイルム(株) 岩本 幸夫

演題A15 特許情報の分析・評価支援
- 多観点分類と引用分析 -
(株)富士通研究所 渡部 勇、小川 知也、田中 一成

15:05~15:30 休憩

15:30~15:45 挨拶
独立行政法人 科学技術振興機構 理事長 沖村 憲樹
社団法人 情報科学技術協会 会長 立花 肇

15:45~17:15 特別講演 (同時通訳)
引用データによって強化された学術情報データベースをいかに評価するか
Evaluation of Citation-enhanced Scholarly Databases
ハワイ大学 情報・コンピュータ学科 教授 ピーター・ヤチヨ博士

17:30~19:30 情報交流会 会場: 7階 レストラン

13:00~13:50 セッションB1 医学情報
座長 佐藤 淑子(東京女子医科大学図書館)

演題B11 患者図書館における医療職の役割
- 「からだ情報館」の場合 -
東京女子医科大学病院 看護部 荒木 良子、清水まつ江、東金 和子
東京女子医科大学病院 「からだ情報館」 桑原 文子

演題B12 EBMに基づく診療ガイドライン、診療ガイドライン開発
- その情報科学的分析 -
(財)国際医学情報センター 鈴木 博道、重永 敦、葉山 和美、長瀬 典子

13:50~15:05 セッションB2 情報教育
座長 佐藤 淑子(東京女子医科大学図書館)

演題B21 宇部興産(株)におけるエンドユーザー教育 IV
- グループ企業内におけるマーケット・リサーチ教育の試み -
宇部興産(株) 岡本 和彦、出口 昌信

演題B22 作品評価データベースの作成
鈴鹿国際大学短期大学部 田中 雅章、松本 亜紀

演題B23 「総合的な学習の時間」等への地球環境データ専用ブラウザ「バーチャルアース」
利用について
(株)マリン・ワーク・ジャパン 荻堂 盛誉、宮城 博、大城 美香、岡別府陽子
独立行政法人 海洋研究開発機構 小松 徹史、園田 朗、設楽 文朗

13:00~15:05 セッションC1 データベース作成
座長 矢倉 信之 (科学技術振興機構)

演題C11 化学データベースへの日本語機能付与I.
- CAplusファイルタイトルの英日機械翻訳 -
(社)化学情報協会 岩崎 和人, 福井美笑子, 菊池 綾
一ノ瀬桂子, 廣田 勇二

演題C12 教師教育分野文献データベースにおける索引言語の設計
愛知大学 山本 昭
東京学芸大学 岩田 康之
大妻女子大学 矢野 博之
山梨大学大学院 大和真希子

演題C13 報告書類における「目次」情報の特性
- 記述内容と検索対象としての有効性の検討 -
山梨大学大学院 大和真希子
愛知大学 山本 昭
林 佐和子

演題C14 行政情報に頻出する特徴語に関する基礎的調査
国立印刷局 吉井 隆明
筑波大学大学院図書館情報メディア研究科 石塚 英弘

演題C15 個別性に着目した闘病記のインデキシング
筑波大学大学院図書館情報メディア研究科 菊池 葉子, 岩澤まり子

A会場 みらいCANホール

は会場発表者、敬称略

10:00~12:00 ラウンドミーティング「日本・アジアにおける電子ジャーナル化の現状」
座長 土谷 久(ノバルティス ファーマ(株))

オープンアクセスの議論点、最近の動向、日本の学術出版への影響

東海大学総合科学技術研究所 尾身 朝子
愛知大学文学部 時実 象一
(株)アトラス 山崎 匠

アジア諸国における電子ジャーナル動向の調査

愛知大学文学部 時実 象一

J-STAGEの現状と利用動向

独立行政法人科学技術振興機構 和田 光俊, 久保田 壮一
東海大学総合科学技術研究所 尾身 朝子

電子ジャーナル事業の確立と課題

- 日本化学会の取り組み -
(社)日本化学会 林 和弘, 太田 暉人
東京大学 小川 桂一郎

13:00~13:50 セッションA2 電子ジャーナル
座長 渡辺 正彦(キリンビール(株))

演題A21 J-STAGE投稿審査システム

- 電子投稿・電子査読システムの現状と課題 -
独立行政法人科学技術振興機構 荒川 紀子, 和田 光俊
愛知大学文学部 時実 象一

演題A22 JSTリンクセンターの新機能

- J-STAGEとGoogleの連携と電子ジャーナルにおける論文の引用・被引用関係表示 -
独立行政法人科学技術振興機構 久保田 壮一, 荒川 紀子, 和田 光俊
(株)アトラス 近藤 裕治, 小久保 浩, 山崎 匠

13:50~14:00 休憩

14:00~15:40 セッションA3 化学・創薬情報
座長 渡辺 正彦(キリンビール(株))

演題A31 Web化学物質検索システムの比較

日本オンライン情報検索ユーザー会 化学分科会
(株)ダイヤリサーチマーテック 鈴木 理加

演題A32 ゲノム創薬時代の効率的な情報収集

- MODYを中心として -
(株)ワイゼル 加藤 亮, 橋本 博之, 辻河 登, 榊原 良一

演題A33 インフォプロの専門知識を活用した研究テーマの立案支援

- CPlusにおける作用機作の機械抽出と活用および化合物の解析の試み -
日本FARMDOC協議会
田辺製薬(株) 小島 史照 ゼリア新薬工業(株) 荒木 孝友
(株)住化技術情報センター 岡 紀子 あすか製薬(株) 佐々木 享子
大塚製薬(株) 須藤 公夫 三菱ウェルファーマ(株) 長澤 優
万有製薬(株) 長野美智代

演題A34 特許情報の知識マイニング

- 分類などによる化合物の生理活性の定量的予測方法 -
(株)ワイゼル 辻河 登
(株)ジー・エス・プラッツ 平野 弘之
東京工業大学 石川 智久

B会場 会議室2

は会場発表者、敬称略

10:00 ラウンドミーティング「日本・アジアにおける電子ジャーナル化の現状」

12:00 会場：みらいCANホール

13:00～14:15 セッションB3 特許情報2
座長 釜井 美佐 ((株)ダイヤリサーチマーテック)

演題B31 サーチャーに役立つ便利なソフトの活用
- ダウンロードから検索データの加工まで -
ダイキン工業(株) 松村 泰成

演題B32 特許出願経過調査
- 調査マニュアル作成 -
(有)パテントモール 鉦鹿 明弘

演題B33 分析Toolを利用したRapid Technology Intelligence Process 研究(1)
- プロフェッショナル・ディベロップメントとテック・マイニング -
INFOSTA-SIG-パテントドキュメンテーション部会
(株)帝人知的財産センター 桐山 勉
日科情報(株) 田中 宣郎、長谷川正好
はやぶさ国際特許事務所 川島 順
大阪工業大学大学院 都築 泉
レイテック(株) 大山 勝弘
(財)日本特許情報機構 玉置 研一

14:15～14:25 休憩

14:25～15:15 セッションB4 ビブリオメトリクス
座長 釜井 美佐 ((株)ダイヤリサーチマーテック)

演題B41 学術研究の国際比較
- 自然科学系雑誌における引用分析から -
筑波大学大学院図書館情報メディア研究科 角田 裕之, 小野寺夏生
天野 晃, 児玉 関

演題B42 国内科学技術系学協会誌の投稿規定分析
- 参照文献の記述、電子投稿、著作権を中心として -
川村学園女子大学教育学部 藤田 節子

16:00～18:00 特別ワークショップ
引用関連コンテンツとソフトウェアの比較と評価の実際
会場：イノベーションホール

C会場 会議室1

は会場発表者、敬称略

10:00 ラウンドミーティング「日本・アジアにおける電子ジャーナル化の現状」
12:00 会場：みらいCANホール

13:00~14:15 セッションC2 オントロジー
座長 小野寺夏生(筑波大学)

演題C21 材料分野の問題解決支援システムの概念設計
- 材料用セマンティックWeb構築を目指して -
物質・材料研究機構 芳須 弘, 藤田 充苗, 原田 幸明
東洋大学 芦野 俊宏

演題C22 XMLを用いた複合材料熱物性知識ベースの開発
物質・材料研究機構 徐 一斌, 飯室 茂, 山崎 政義
八木 晃一, 藤田 充苗

演題C23 ターミノロジー、オントロジー、索引言語の相補性とコラボレーション
- 情報文化学のケーススタディ -
東京農工大学 岡谷 大
つくば国際短期大学 森田富士男

14:15~14:25 休憩

14:25~15:40 セッションC3 システム構築
座長 岡谷 大(東京農工大学)

演題C31 クライアントベースのセキュア情報管理システム
(株)カオスウェア 吉田 裕明, 寺井 秀明, 辻丸 詔
高 明慧, 梅野 健

演題C32 RSS(Rich Site Summary)を活用したOPACサービスの展開
- 農林水産研究情報センターにおける事例 -
農林水産省農林水産技術会議事務局筑波事務所研究情報課 林 賢紀

演題C33 オープンソースを利用した図書館システム
慶應義塾大学文学部図書館・情報学専攻 原田 隆史, 横山 瑠美
(株)ネットワーク応用通信研究所 長井 英夫, 佐々木雅吾

16:00~18:00 特別ワークショップ
引用関連コンテンツとソフトウェアの比較と評価の実際
会場：イノベーションホール

特別講演（同時通訳）

引用データによって強化された 学術情報データベースをいかに評価するか

Evaluation of Citation-enhanced Scholarly Databases



日時：2005年11月10日（木） 15：45～17：15

会場：A会場 みらいCANホール

ピーター・ヤチヨ（PÉTER JACSÓ）博士

（ハワイ大学 情報・コンピュータ学科 教授）

- ・ハンガリー生まれ
- ・1979年ブダペストEötvös Lóránd 大学で政治・法律学博士の学位取得
ブダペスト国際コンピューター教育・情報センターにご勤務
- ・1988年米国に渡られ、主にハワイ大学で情報学の研究・教育にご活躍

情報のプロフェッショナルによるデータベースの評価と比較は、その比較に際して最も適したデータベースを選ぶことが非常に重要である。最近では、データベースの情報源となる一次資料が引用したレファレンスを組み込んだ新次元がもたらされ、引用を辿ることで非常に関連性の高い論文を検索できるというだけでなく、データベースの評価そのものがこれにより変わり始めた。引用文献を提供することは、統制語や複雑な検索式を使わずに主題に関連するデータに利用者を導くことである。従来のデータベース評価の基準では収録範囲、年代、ドキュメントの種類、ジャーナル誌数、正確性や一貫性が中心となるが、引用データにはその構造・フォーマットなど特有の評価内容が加えられる。

中身まで見た上での評価とは、通覧、検索、ソフトウェアの出力の特性などが常に評価される。情報蓄積や抽出のプログラムをどうするかによって、引用のインデックス方法、蓄積・見せ方は非常にさまざまである。最も賢い方法としては、データベース内側でのリンク、あるいは外側に向けてのリンクなどを加えて、文献情報間での引用・被引用を実装したり、引用数のカウントを計算したり表示したりして、検索結果を引用の多い順にランキングするなどの仕組みを加えている。こうした特徴は引用検索と従来の主題検索の双方を効果的にするものである。

特別講演では引用に関するコンテンツや機能に特に着目して主要なデータベースを評価する基準を検証し、インフォメーションプロフェッショナルにとって助けとなるものは何かを論じる。

特別ワークショップ（逐次通訳）

引用関連コンテンツとソフトウェアの比較と評価の実際

How to compare and evaluate the citation-related content and software features of databases

日時：2005年11月11日（金） 16：00～18：00

会場：イノベーションホール

引用を取り込んだデータベース、出版者アーカイブおよびリポジトリ等を収録範囲、内容、フォーマット、引用の構造などで評価・比較する方法を示す。また、a)引用されたファクターをレポート化すること、b)インデックスをみること、c)引用された著者、機関名、ジャーナル名、論文名の検索などをさまざまなプラットフォームによる提供において比較する。（Web of Knowledge, Scopus, Google Scholar, STN, CSA, Dialog, Ovid, OCLC, Ebsco, ScienceDirect, HighWire Press, CiteSeer など）。

参加費（2日間共通）

シンポジウム聴講：一般：6,300円 学生：4,200円
（いずれも予稿集代、消費税込み）

情報交流会：4,200円（消費税込み）

* シンポジウム参加者は、日本科学未来館の常設展示を無料でご覧いただけます。

参加申込み方法

参加申込受付フォーム(<https://www.dicalpha.net/infopro/form.html>)もしくは別紙の「参加申込書」でお申し込みください。

併設催事（予定）

場所：展示コーナー（7F）

- ・ JST システム紹介
 - ・ JDreamII、J-STAGEの紹介
- ・ INFOSTA 研究会紹介
 - ・ 日本オンライン情報検索ユーザー会
Online User Group (OUG)の活動紹介
 - ・ 専門部会 Special Interest Groups (SIG)の活動紹介

独立行政法人
科学技術振興機構
Japan Science and Technology Agency (JST)

科学技術普及課内 INFOPRO2005事務局
〒102-8666 東京都千代田区四番町5-3
TEL：03-5214-8406 FAX：03-5214-8470
E-mail：kabe@jst.go.jp

社団法人
情報科学技術協会
Information Science and Technology Association
(INFOSTA)

〒112-0002 東京都文京区小石川2-5-7
佐佐木ビル
TEL：03-3813-3791 FAX：03-3813-3793
E-mail：sympo@infosta.or.jp

参加申込は、
以下の参加申込受付フォーム
<https://www.dicalpha.net/infopro/form.html>

プログラムは、
以下のINFOSTAホームページ
<http://www.infosta.or.jp/symposium/infopro2005program.html>